

社会資本総合整備計画（市街地整備） 事後評価書

計画の名称	2 都市公園を核とした緑とオープンスペースの保全と再生・創出により市民が安全・安心を感じられる災害に強い都市環境の整備									
計画の期間	平成22年度 ~ 平成26年度（5年間）	交付対象	山口県下関市							
計画の目標	都市部での緑化ならびに緑の拠点となる公園を整備・更新することで、緑の保全とオープンスペースの創出を推進し、住環境の向上と防災機能の充実を目指す。さらに、都市公園を中心として、緑の保全・再生・創出と環境に配慮した緑豊かなまちづくりを目指す。									
計画の成果目標（定量的指標）	指標 ・災害時に必要な避難場所となる面積を83ha（H22）から92ha（H26）に増設する。 指標 ・都市公園面積を349ha（H22）から358ha（H26）に拡大する。 指標 ・都市公園内の老朽化による使用禁止遊具の更新を0基（H22）から55基（H25）行う。 指標 ・緊急物資等の保管・荷卸し場所を8,100㎡（H22）から17,900㎡（H26）に増設する。 指標 ・樹木の剪定枝の再利用率を0%（H23）から80%（H26）にする。									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初） 中間目標値（H24末） 最終目標値（H26末） 備考						
指標	避難場所の面積を測定する。	83 h a	86 h a	92 h a						
指標	都市公園の面積を測定する。	349 h a	352 h a	358 h a						
指標	都市公園内における使用禁止遊具の更新数を測定する。	0基	41基	55基						
指標	広域輸送拠点における緊急物資等の保管・荷卸し場所の面積を測定する。	8,100㎡	-	17,900㎡						
指標	剪定枝の再利用率を測定する。	0%	40%	80%						
全体事業費	2,780百万円	合計	A	2,466百万円	B	10百万円	C	304百万円	効果促進事業費の割合 C / (A + B + C)	10.9%

事後評価（中間評価）

事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	事後評価（中間評価）の実施時期
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期
社会資本総合整備計画の事後評価として評価委員会にて実施。	事業終了後 公表の方法 下関市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業															
A 基幹事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-A-1	公園	一般	下関市	直接	下関市	都市公園事業（乃木浜総合公園）	公園面積21ha 多目的広場、園路整備	下関市						1,599	
2-A-2	公園	一般	下関市	直接	下関市	下関市長寿命化計画策定	勝山地区公園他388公園	下関市						81	
2-A-3	公園	一般	下関市	直接	下関市	下関市都市公園安全安心緊急総合支援事業	火の山公園他54公園	下関市						766	
2-A-4	公園	一般	下関市	直接	下関市	都市公園事業（下関北運動公園）	駐車場整備、球場改修	下関市						20	
										合計			2,466		
B 関連社会資本整備事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-B-1	道路	一般	下関市	直接	下関市	道路改良事業（市道宇部神田線）	L = 40m	下関市						10	
										合計			10		
番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考				
2-B-1	公園整備（2-A-1）と拡幅予定のある国道を結び市道を改良することにより都市公園の機能の向上と防災機能の充実を図る														
C 効果促進事業															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
									H22	H23	H24	H25	H26		
2-C-1	公園	一般	下関市	直接	下関市	街区公園整備事業	街区公園の整備	下関市						57	
2-C-2	活動支援	一般	下関市	間接	民間	まちなか緑化推進事業	通常時は緑のオープンスペース・災害時には一次避難地になる用地を下関市へ寄付する市民に建物の撤去費等の補助	下関市						32	
2-C-3	活動支援	一般	下関市	間接	民間	屋上緑化推進事業	市民へ屋上緑化の補助金	下関市						4	
2-C-4	公園	一般	下関市	直接	下関市	緑のリサイクル推進事業	剪定枝のリサイクル化	下関市						140	
2-C-5	施設整備	一般	下関市	直接	下関市	都市公園サイン設置事業	公園内の案内板・表示板の設置	下関市						39	
2-C-6	計画策定	一般	下関市	直接	下関市	緑の基本計画策定事業	緑の保全創出のための計画策定	下関市						32	
										合計			304		

番号	一体的に実施することにより期待される効果										備考
2-C-1	公園整備（2-A-1）と併せて街区公園の整備をすることで都市公園面積の拡大を図り、一次避難地として活用できるオープンスペースの創出を推進し、更なる住環境の向上を目指す。										
2-C-2	密集市街地内で災害時に一次避難地となる土地の創出を推進する活動支援であり、公園整備（2-A-1）と併せて避難箇所となるオープンスペースの増設を図る。										
2-C-3	災害と環境に配慮したまちづくりを目指すため、公園整備（2-A-1）による防災拠点となる公園を整備することと併せて、建築物の屋上等を活用した避難場所の確保にも資する緑化活動への支援を行うことで、防災力の強化と緑の保全・創出を推進する。										
2-C-4	公園整備（2-A-1）で設置するリサイクル施設と併せて都市公園で発生する剪定枝をチップ化し、都市公園内に敷均して雑草の繁茂を防ぐことで、健全な避難施設としての機能を保つとともに、安全で安心して利用できる公園として適切な公園管理を行う。										
2-C-5	公園整備（2-A-3）で行う施設の整備・更新と併せ、遊具事故の防止を促す注意看板を設置することにより、安全で安心して利用できる公園として利用促進を図る。										
2-C-6	長寿命化計画策定（2-A-2）と併せ、重要な都市防災機能の役割を果たす公園や緑地の保全再生創出に関する基本計画を策定し、緑豊かで災害に強いまちづくりを目指す。										

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

定量的指数に関する 交付対象事業の効果の発現状況	・計画期間内に5haの災害時に必要となる避難場所及び公園面積が増加した。 ・使用禁止遊具の更新をおこなった結果、市民が安全、安心に利用できる施設数が増加した。 ・計画期間内に9,800㎡の緊急支援物資の保管・荷卸し場所に資する面積が増加した。 ・樹木の剪定枝の再利用について、計画的に事業を実施することにより再利用率が増加した。				
定量的指数の達成状況	指標（災害時に必要な避難場所となる面積の増加）	最終目標値	92ha	目標値と実績値に差が出た要因	予算措置の状況により、事業進捗が図れなかった。
		最終実績値	88ha		
	指標（都市公園面積の増加）	最終目標値	358ha	目標値と実績値に差が出た要因	予算措置の状況により、事業進捗が図れなかった。
		最終実績値	354ha		
	指標（老朽化による使用禁止遊具の更新数）	最終目標値	55基	目標値と実績値に差が出た要因	最終目標値は若干下回ったが概ね順調な進捗状況であった。
		最終実績値	52基		
指標（広域輸送拠点における緊急物資等の保管・荷卸し場所となる面積の増加）	最終目標値	17,900㎡	目標値と実績値に差が出た要因		
	最終実績値	17,900㎡			
指標（樹木の剪定枝の再利用率）	最終目標値	80%	目標値と実績値に差が出た要因	計画的に事業を実施することにより、最終目標値を上回った。	
	最終実績値	100%			
定量的指数以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	「まちなか緑化推進事業」及び「屋上緑化推進事業」を実施することにより、更なる住環境の向上と防災機能の充実が図られた。				

3. 特記事項（今後の方針等）

次期整備計画（H27～H31）においては新たな目標を設定し、公園施設の長寿命化及び都市防災に資する公園事業を重点的に推進することにより、安全で安心な緑のオープンスペースの確保及び緑が有する防災機能の効果的な発現に取り組む。